



## レディースエレガントに出場して

札幌手稲 木下 茶紀子

私がスキーを始めたのは、幼稚園の頃でした。町内会のスキー教室で、始めてスキーというものを履きました。私自身、全く記憶にないのですが、初めて行ったスキー場、初めて乗ったリフトからいきなり落下するという不運に見舞われたそうです。こんな怖い思いをしたら、きっとスキー嫌いになってしまうと思いきや、雪まみれになった私は、満面の笑みで笑っていたそうです。今の私は、そこから始まったのかもしれない。

.....

自分のやりたいことを選択できる大人になっても、なぜスキーを続けているのか？子供の頃から雪が降ったら山で滑ることが当たり前だったので、余り考えたこともありませんでした。

でも、こうして改めて考えてみると、板の上に乗って山を滑るという状況と、日々の時間によって変化するいろんな雪の上を滑る、そんな状況が面白いのだと思います。スキーをしていると毎日リフレッシュできる自分がいます。

そこがやめられないところなのかも・・・

この大会に出場した動機は、何かにチャレン

ジして自分を試してみたかったからだと思います。毎日滑るからには、目標をもって滑った方が気合が入るんじゃないかと思ったのがきっかけです。幸いなことに私の周りには、テンションを上げてくれるスキー仲間と、真剣に教えてくれる先生方に恵まれていました。今年の大会は、いつも一緒に滑っているメンバーと出場しました。うまくいかないときも、皆で「あーだ、こーだ」言いながら滑る時間が、とても重要な時間だったと思います。こうしてスキーが出来る環境があることに、私は幸せを感じています。



スタート地点にて。ビブ13番が私



吉田大会長を囲んで。右から3人目が私

夏トレは「ランニングと自転車」です。

私は走ること自体、本当は好きではありません。しかし、体力は落としたいくないので、仕方なく走っていますが、走るとなんだかスッキリするんです。お肌





のために日焼けのしない時間帯を選んで……

自転車は、マウンテンバイクに乗っていますが、どちらかといえば舗装された道路よりも、山道を下るのが好きです。山道を下るには当然、登らなければなりません。自転車に乗ったまま登るには、急な道も沢山ありますが、もう少しで風を切って降りれると思うと苦にならずに登れてしまいます。

マウンテンバイクで山道を走っていると目の前の道に夢中になっている自分があります。山道には岩があったり、木の根が這っていたり、雨

の日はぬかるんでいたり、それをひとつひとつクリアしていくのが楽しいのです。毎日同じ条件の日がないという点では、スキーもマウンテンバイクも私の中では、似ている感覚なのかもしれません。

私の夏のオフトレは、こんな感じで過ごしております。最近はスキー人口が減ってきたように思いますが、スキーが好きな人は沢山います。

私もきっと体が動く間は、飽きずに続けていくだろうと思います。

スキー仲間の皆さ〜ん、今シーズンもよろしくお願いま〜す。

## ことばの謂われ

### 「朝三暮四」ってなに

朝三暮四とは、目先の違いにとらわれ、結果が同じになることに気づかない事。言葉巧みに人をだますこと。朝四暮三（ちょうしぼさん）。

朝三暮四は、中国の「列子（黄帝）」や「莊子（齊物論）」に見える故事に由来する。その故事とは、中国の春秋時代、宋の国に狙公という猿好きの老人がいた。猿が増えて家計が苦しくなったため、飼っている猿の餌を減らそうと考え、狙公は「これからはトチの実（どんぐり）を朝に三つ、暮れに四つやる」と言ったが、猿が「少ない」と怒ったため、「朝に四つ、暮れに三つやる」と言い直したところ、猿はとても喜んで承知したというものである。

この故事から、結果は同じなのに表面的な利害にとらわれることや、そのようにして騙すことを「朝三暮四」と言うようになった。派生的な用法であるが、中国では、考えがころころ変わって定まらない意味でも用いられる。